

■欧州：寒波により、欧州各地で電力需要が急増、フランスでは停電リスクも

1月初めから欧州を襲っている寒波により、各地で電力需要が急増している。フランスの系統運用者である RTE は、2010年1月4日、省エネプログラム「エコワット」を通じて、フランス北西部のブルターニュ地方の住民に対して、需要がピークとなる朝方と夕方17時から20時の時間帯の節電協力を呼びかけた。RTE は、さらに、ブルターニュ地方と同様にローカル電源の乏しい南フランス地域も停電のリスクにさらされているとして、警戒を呼びかけている。また、英国では、2010年1月7日17時の電力需要が5,930万kWを記録した。これは、2007年12月17日に記録した6,070万kWに次ぐものである。ただし、現在のところ、英国内のピーク用電源の多くは稼動しておらず、需給逼迫の状況には至っていない。ノルウェーの系統運用者 Statnett は、急激な冷え込みに伴う家庭の暖房需要の急増により、2010年1月6日午前8時から9時の間、電力需要が過去最大の2,400万kWhを記録したと発表した。Statnettによれば、ノルウェーの一部地域で卸電力価格が高騰（300ユーロ/MWh）したものの、電力システム自体は安定しており、電力供給の上で、特に大きな問題は発生していないとしている。